

日本同盟基督教団「教会と国家」委員会主催

平和祈禱会

和解、未だ成らず —中国のキリスト教に どのように向き合うか

聖書箇所 エペソ2:14-22



講師：松谷 暉介 師

(金城学院大学宗教主事・准教授)

日時：2022年8月11日(木)

10:30～12:00

会場：横浜上野町教会 

YouTube配信 

【講師からお誘いの一言】

日本の安全保障が議論される中で「中国とどのように向き合うか」は避けて通れない課題です。

では、日本の教会・キリスト者は中国の教会・キリスト者とどのように向き合うべきなのでしょうか。日本による中国侵略の罪責、中国共産党政権による宗教統制の現状、香港・台湾問題を含む東アジアの複雑な国際関係を踏まえた上で、日中のキリスト教はどのように和解と平和を築いていけるのでしょうか。

特に平和を祈る8月、中国のキリスト教について共に学び、共に祈りを合わせられることを願っています。

申込み先 (Peatixにて申込み下さい。参加費無料です。)

<https://prayermeetingpeace2022.peatix.com>



問合せ先

日本同盟基督教団「教会と国家」委員会 担当：柴田智悦
メールアドレス chietsus@gmail.com

松谷 暉介 師プロフィール (まつたによすけ)

1980年、福島県生まれ。
2003年、国際基督教大学教養学部卒業。2007年、東京神学大学大学院神学研究科修士課程修了。
2012年、北九州市立大学大学院社会システム研究科博士課程単位取得退学(博士[学術])。
2014-16年、日本学術振興会・海外特別研究員として香港中文大学・崇基学院大学で在外研究。
日本キリスト教団八幡鉄町教会(北九州)と同筑紫教会(福岡)の牧師を経て、現在は金城学院大学宗教主事・准教授。

著書 王艾明『王道—21世紀中国の教会と市民社会のための神学』(編訳、2012年、新教出版社)、『日本の占領統治と宗教政策—日中キリスト教の協力と抵抗』(明石書店、2020年/国際宗教研究所賞・キリスト教史学会賞受賞)、『増補改訂版—はじめての中国キリスト教史』(共著、かんよう出版社、2020年)、『香港の民主化運動と信教の自由』(編訳、教文館、2021年)、『夜明けを共に待ちながら—香港への祈り』(共編、教文館、2022年)